

／ つながりを大切に情報をお届けします ／

あまてらす^{プラス}HUB通信

No.10

こんにちは、あまてらすプラスです。新生活が始まりみなさん慌ただしく毎日を過ごされていることと思います。プラスにも新しい作業療法士の仲間が増えました！今回の通信では知ってるようで実は知らなかったという方も少なくないはず！作業療法士の仕事についてご紹介できればと思います。

だれでも、
「作業」
している。

食べたり、入浴したり、人の日常生活に関わる全ての諸活動を「作業」と呼んでいます。

セルフケア（着替え、トイレなど日常生活行為のこと）

家事

地域活動

余暇

仕事

「作業」は、
あなたと社会とをつなぐ「接点」です。



「作業」で、社会とつながる。

病気やけが、もしくは、生まれながらに障害がある人など、年齢に関係なく、日常生活に支援を必要とするすべての人が社会とのつながりを「作業」を通じて作ります。

こころとからだを

こころ：統合失調症、気分（感情）障害…

からだ：脳卒中、脊髄損傷、高次脳機能障害

人生のあらゆるステージで

発達期：脳性麻痺、注意欠陥・多動性障害、ダウン症候群…

高齢期：認知症、骨・関節障害…

作業療法の 目標

3つの能力を維持・改善

作業療法は、基本的な動作能力から、社会の中に適応する能力まで、3つの能力を維持・改善し、「その人らしい」生活の獲得を目標にします。

基本的動作能力

➤ 運動や感覚・知覚、心肺や精神・認知などの心身機能

応用的動作能力

➤ 食事やトイレ、家事など、日常で必要となる活動

社会的適応能力

➤ 地域活動への参加、就学・就労

その人なりの、その人らしい生活を「作業」を通じて作っていきます。

病気やけがの初期段階で

病気やけがの直後から、リハビリテーションを開始します。将来の生活を見越し、その時の症状にあわせて、こころとからだの基本的な機能の改善を援助するとともに、新たな機能の低下を予防します、そうすることで高い効果を生むと考えています。

生活の方法の習得に向けて

急性期の作業療法を経て、病気やけがの状態が安定したら、より具体的な生活をイメージして機能や能力の改善を図ります。生活していくために必要な能力の開発や手段の獲得を通じて、人それぞれに応じた生活の方法を習得します。

服や靴の着脱をする練習

買い物など外に出る練習

など

その人なりの生活の方法と一緒に考え、習得を支援します。

豊かに 生きるために

訪問看護ステーションで働くリハビリスタッフが
1番大切にしているところです

住み慣れた場所でその人なりの生活を送る支援をします。
社会のなかで、それぞれが生きがいをもち、豊かに生きるための、
生活の実現を図ります。

- 散歩など、外に出る練習
- 地域コミュニティへの参加の支援
- 実際の仕事場に近い環境での就労支援
- 福祉用具を使用して趣味やレジャーを楽しむ援助

など

その人にあったより生活しやすい環境、生きがいをもって、豊かに生きることのお手伝いをさせていただきます。



通院でのリハビリを続けているが
通わなくて済むなら...

マンツーマンで
リハビリが受けられたら...



などお困りの方がおられましたら一度当ステーションにご連絡ください。

専門の知識を持つスタッフが訪問します！

 **あまてらす** 訪問看護
ステーション 

〒869-1103

熊本県菊池郡菊陽町久保田2885-6 ありえすエイトB

▼お問い合わせはこちら

096-273-9854

訪問看護の
ご依頼やご相談は随時
お待ちしておりますので
お気軽にご連絡ください！

